

『岡山商大論叢』（岡山商科大学）

第50巻第3号 2015年2月

Journal of OKAYAMA SHOKA UNIVERSITY

Vol.50 No.3 February 2015

《論 説》

## 意味分類から見た日中四字漢字 語彙の意味ずれ

盛 凱

An Analysis into the difference in lexical meaning of the four-word vocabulary  
in Chinese and Japanese

Kai Sheng

### はじめに

本稿は、先に発表した小論「日中漢字語彙比較研究——二字漢字語を中心に」（盛 2013）と「意味分類から見た日中三字漢字語彙の意味ずれ」（盛 2014）の続編である。

本稿では『分類語彙表』（増補改訂版・国立国語研究所）により中国語にない漢字語を含めた漢字語を中心として、四字漢字語を抽出し、意味分類をすることにする。先行研究と自分の二、三字語の研究を踏まえつつ、さらに意味範囲、語構成などの面から、より精密な意味分析を試み、日中漢字語の意味ずれを探ってみようと思う。

## I 先行研究

日中同形語の意味に関する対照研究は両言語の研究者によって盛んに研究されてきた。代表的な研究としては1978年文化庁から出版された『中国語と対応する漢語』の分類が主流で、大河内康憲（1992）、荒川清秀（1979）、守屋宏則（1979）、王蜀豫（1998）などが挙げられる。

現在は、同形語を語彙面から体系的に研究され、各分類における同形語の語数を対照する研究が注目されるようになった。研究者は王蜀豫（1999）、曾根博隆（1988）、林玉恵（2002）、彭広陸（2009）が挙げられる。

### 1.1 日中同形語意味分類と形態素研究

日中同形語意味分類に従う先行研究は以下のようである。

1) 橘純信（1994）の『現代中国語における中日同形語の占める割合』には「漢語水平詞匯大綱」の語彙（連語、成語など含む）を対象に一般に用いられている国語辞典に照らして中日同形語を探し出し、意味分類は以下の5種類に分けた。

- ① 両国語義が一致する型。
- ② 両国語に共通する語義以外に、中国語に別義がある型。
- ③ 両国語に共通する語義以外に、日本語に別義がある型。
- ④ 両国語に共通する語義以外に、両国語にそれぞれ別義がある型。
- ⑤ 両国語に共通する語義がない型。

言い換えれば、①類は同形同義語（S）、②、③類は同形類義語（O）、④類は同形異義語である。<sup>(1)</sup>

2) 王蜀豫（1998）の『現代国語辞典』における同形語』には現代国語辞典における34,997語の中で、同形語16,226語あり、漢語全体の46.3%を占めている。なお、3,200語の一字漢語を除いて、二字以上の漢語が31,797語ある。そのうち同形語が13,026語ある。そして、同形語の分類については、早稲田大学語学教育研究所が編纂した「中国語と対応する漢語」に従った。

3) 彭広陸「中日同素語再考」(『漢日対比語言学研究会成立大会暨第1回漢日対比語言学研討会資料集』2009)は、「校园(中)—校庭(日)・长处(中)—長所(日)・改建(中)—改築(日)・词形(中)—語形(日)・窃听(中)—盗聴(日)」のような、「中国語と日本語の間に見られる、類義の形態素による、意味的に対応する語彙」のことを「中日同素語」と呼んでその諸相を考察した。

結果を見ると『中国語と対応する漢語』の意味分類の仕方によって、分類され、中日同形語における意味が同じか、または極めて近いものSが一番多く全体の半分以上を占め、意味の異なる語が最も少なく5%を占め、意味が一部重なっているが両者の間にずれのあるものは特に注意するものであると指摘されている。

## 1.2 四字漢字語における研究

山田孝雄(1940)の後を受けて、斎賀秀夫(1957)は語構成の問題を正面からとりあげた論文として注目に値する。同論文の前半では、漢語だけでなく、和語・外来語・混種語を含めた語構成論を展開していたが、後半では、山田孝雄や松下大三郎の説を踏まえて、「並立関係」「主述関係」「補足関係」「修飾関係」「補助関係」「客体関係」の6分類を打ち出し、「語結合の意味的關係」について論じられた。また、この6分類を説明するために、「薄利—多発、住所—氏名、生産—上昇、映画—見物、戦争—否定」のように、生産性のある近代的な四字漢語の用例が数多くあげられている。

また、野村雅昭(1975)は、語基の性格から結合パターンまで、四字漢語の語構成を全面的に考察した画期的な論文といえる。その成果は次のようにまとめられる。①四字漢語の構成パターンとして、I型(2+2型)と非I型(1+3型、3+1型、1+1+1+1型)の分類を打ち出した。②「みかけの構造から操作的にとらえることができる構造」を基底構造と呼び、四字漢語の字面に顕現しない要素も語構成の下位分類を行なうときの手がかりに用いた。以上のような方法によって、四字漢語の構造分析は、

それまでの漢文的構文論に基づいた方法から脱出し、日本漢字語の実際に一步近付いたように思われる。

## Ⅱ 調査の対象と方法

### 2.1 調査の対象

本稿は先の小論と同じく『分類語彙表』を調査の対象にした。『分類語彙表』は意味分野と品詞別に分類されたものであるので、『分類語彙表』の各意味分野における意味分類の分布状態を究明することができる。つまり、意味分類がどのような意味分野に多く占めているのか、それに意味分類が意味分野に多く占めている語がどんな語であるのかを調査することができるのである。

### 2.2 調査の方法

『分類語彙表』形式による語彙分類表からを調査の対象として意味分類を行う。二、三字漢字語に続き、四字語の状況を明らかにしようと思ひ、日中双方の対照研究がしやすいように、二、三字漢字語と調査方法やデータの集計・分類方法を用いる。

まずは、『分類語彙表』の中における四字漢字語が『現代漢字詞典』第5版に収録される範囲で選定して辞典に載っている四字漢字語を同形語とし、グループ別意味分類を行い、つまりそれぞれS、O、D、N類に分類し、辞典に載ってない四字漢字語は中国語にはない日本語の漢字語としてN類に分類した。

意味確認のために『現代漢字詞典』と『広辞苑』CD-ROM版を使って中国語と日本語の意味を比較検討する。

### 2.3 漢字語の対照基準

- ①中国の簡体字はもとの字体（繁体字）に直して比較する。
- ②中国語と日本語の発音の異同は無視することにする。

- ③原本の『分類語彙表』には読みがないので五十音順『分類語彙表』形式による分類語彙表の読み方に従う。
- ④1つの語を読みの違いによって、別の個所に配置することがある場合は1語として扱った。
- ⑤意味分析の角度から考え、人名、地名などの固有名詞を省略する。
- ⑥中日漢字語の延べ語数は無視して、異なり語数について調査を行う。

## 2.4 使用辞典

本研究で漢字語の意味は基本的に以下の辞典によって確かめ、その意味を記入した。

- 『現代漢語辞典』第5版 中国社会科学院言語研究所辞典編纂室 編  
商務印書館
- 『広辞苑』CD-ROM 第5版 岩波書店 (1998) 新村出 編

## Ⅲ 日中漢字語の分類方法

### 3.1 日中同形語の概念

大河内康憲 (1992) によれば、日中同形語というのは単純に同じ漢字で表記される語ではない。単に表記面から考えれば、日中両言語が漢字を表記に利用する限り、「一」、「二」、「三」、「大」、「小」、「山」、「人」等、一字で音訓のいずれにも使われるものは全部日中同形語のカテゴリーに入れられる。しかし、日中同形語と捉えるかどうかは単に表記の問題ではなく、語構成の面も考えなければならない。

同氏によれば、「文化、経済、克服、普通」のような二字（ときには三字以上）の字音語で、表記のみならず語構成にも共通性があり、しかも歴史的に借用関係が存在するものが日中同形語である。また、同形語といっても字体が全く同じとは限らない。例えば、「経済」と“经济”<sup>(2)</sup>、「緊張」と“紧张”のように、字体に差異がある場合は中国語の簡体字をもとの繁体字に戻して同形語と見なす。

本稿では、意味分類を行い、日中漢字語の意味ずれなどに注目することによって、日中同形語の特徴と全貌を把握するために発音の異同は無視することとする。つまり、漢字音読語の日本語の漢語を対象にするだけでなく、訓読語の和語も含めることとする。そして、本文では、同形語だけではなく、中国語にない日本語の四字語も入れるので、日中漢字語と呼ぶことにする。

### 3.2 本論での分類方法

以上先行研究に挙げられたが、1978年文化庁が書いた『中国語と対応する漢語』の意味分類は次のようになっている。

- (S) 日中両言語における意味が同じかまたは極めて近いもの。
- (O) 日中両言語における意味が一部重なっているが、両者の間にずれのあるもの。
- (D) 日中両言語における意味が著しく異なるもの。
- (N)<sup>(3)</sup> 中国語にない日本語の漢字語。

なお、(S) は同形同義語、(O) は同形類義語、(D) は同形異義語に言い換えられる。同形同義語の (S) は同形語の中で、語数が一番多く、日本語と中国語の学習者が相手の国の言葉を習うとき、便宜を与えるのである。同形類義語 (O) と同形異義語 (D) は紛れやすいので、とても注意すべき点である。

さらに、同形類義語 (O) は「両国語における意味が一部重なっているが日本語にほかの意味があるもの」、「両国語における意味が一部重なっているが中国語にほかの意味があるもの」、「両国語における意味が一部重なっているが、それぞれほかの意味があるもの」に分類することができる。

以上の先行研究の分類から見ると、漢字語彙の中には、同形であっても日本と中国で意味が異なる場合があり、うっかりすると日中学習者の誤解を見逃してしまう恐れがある。本稿では、『中国語と対応する漢語』の意味分類に従い、『分類語彙表』（増補改訂版・国立国語研究所）により漢字

語の多い種類（1. 体の類）から四字漢字語<sup>(4)</sup>を抽出し、分類してみることにする。そして、代表的な語彙例を通じて、日中漢字語の意味ずれを分析してみたいと思う。

本稿では主に語彙の意味と語構成の角度から分類して、日中両語間でのずれの問題を中心に論じることとする。

#### Ⅳ 日中漢字語の分類と分布

次には『分類語彙表』（増補改訂版・国立国語研究所）から漢字語の多い種類（1. 体の類）から四字漢字語を2,039語抽出して、それぞれ分類してみる。抽出した漢字語の分布は次の通りである。

##### 4.1 S類

抽出語数は1,249語である。

この部分の抽出した漢字語から見ると、S類の単語は字形も意味も日本語と中国語がほぼ同じだから、訳す場合、日本語の漢字を適当に中国語の漢字に直せばいい。

##### 1.1 抽象的關係

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 盤根錯節 | 自然現象 | 超常現象 | 心靈現象 | 交通事故 | 人身事故 |
| 空中楼阁 | 仮想現実 | 複雑怪奇 | 是是非非 | 天下一品 | 生活水準 |
| 家族関係 | 対人関係 | 夫唱婦随 | 相互関係 | 相関関係 | 位置関係 |
| 上下関係 | 前後関係 | 三角関係 | 因果関係 | 系統関係 | 利害関係 |
| 国際関係 | 不即不离 | 立地条件 | 環境条件 | 労働条件 | 前提条件 |
| 必要条件 | 相乗効果 | 善因善果 | 恶因恶果 | 故事来歴 | 存在理由 |
| 有名無実 | 非常手段 | 大同小異 | 同床異夢 | 食物連鎖 | 軍事機密 |
| 起死回生 | 画竜点睛 | 廢藩置県 | 現状維持 | 雲散霧消 | 自然淘汰 |
| 人為淘汰 | 非常事態 | 千編一律 | 政治体制 | 一長一短 | 無味乾燥 |
| 空前絶後 | 身分相応 | 千差万別 | 多種多様 | 十人十色 | 年末調整 |
| 事後処理 | 事故処理 | 紛争処理 | 戦後処理 | 緊急事態 | 非常事態 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 一触即發 | 一騎当千 | 不可抗力 | 表面張力 | 万有引力 | 分解能力 |
| 連鎖反応 | 自由自在 | 千變万化 | 急転直下 | 品種改良 | 土地改良 |
| 軌道修正 | 方向轉換 | 配置轉換 | 新陳代謝 | 基本振動 | 毛管現象 |
| 同時進行 | 一進一退 | 捲土重来 | 急転直下 | 途中下車 | 千載一遇 |
| 黄金分割 | 四分五裂 | 正面衝突 | 百發百中 | 一刀兩斷 | 空中分解 |
| 環境破壞 | 二進一退 | 盛者必衰 | 竜頭蛇尾 | 自由時間 | 一朝一夕 |
| 所要時間 | 生活時間 | 労働時間 | 執務時間 | 通勤時間 | 移動時間 |
| 飛行時間 | 営業時間 | 睡眠時間 | 上映時間 | 演奏時間 | 通話時間 |
| 日照時間 | 日本時間 | 有効期間 | 先史時代 | 地質時代 | 氷河時代 |
| 原始時代 | 鉄器時代 | 縄文時代 | 弥生時代 | 古墳時代 | 飛鳥時代 |
| 大和時代 | 奈良時代 | 平安時代 | 藤原時代 | 鎌倉時代 | 室町時代 |
| 戦国時代 | 桃山時代 | 江戸時代 | 徳川時代 | 明治維新 | 維新前後 |
| 春秋戦国 | 三国時代 | 封建時代 | 春夏秋冬 | 順序不同 | 雨天順延 |
| 天地開闢 | 一氣呵成 | 北回帰線 | 南回帰線 | 不連続線 | 行動半径 |
| 文教地区 | 緩衝地帯 | 安全地帯 | 山岳地帯 | 後部座席 | 立体交差 |
| 自然環境 | 生活環境 | 家庭環境 | 平面図形 | 立体図形 | 正多角形 |
| 正三角形 | 四角四面 | 仮装行列 | 化学当量 | 最高記録 | 日本記録 |
| 世界記録 | 精神年齢 | 生活年齢 | 標準偏差 | 物価指数 | 不快指数 |
| 知能指数 | 耐用年数 | 循環小数 | 三角関数 | 指数関数 | 対数関数 |
| 相関係数 | 等差級数 | 等比級数 | 絶対多数 | 至近距離 | 直線距離 |
| 単位面積 | 一瀉千里 | 電光石火 | 華氏温度 | 列氏温度 | 絶対温度 |
| 絶対零度 | 体感温度 | 人口密度 | 体膨張率 | 線膨張率 | 熱伝導率 |
| 睡眠不足 | 認識不足 | 基本単位 | 国際単位 | 朝令暮改 |      |

## 1.2 人間活動の主体

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 同名異人 | 天地神明 | 千手観音 | 十六羅漢 | 三位一体 | 吉祥天女 |
| 美男美女 | 帰国子女 | 金枝玉葉 | 皇太子妃 | 子子孫孫 | 異母兄弟 |
| 少数民族 | 紅毛碧眼 | 天皇陛下 | 国家主席 | 士農工商 | 無産階級 |
| 有産階級 | 中産階級 | 知識階級 | 支配階級 | 特権階級 | 有閑階級 |



|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 上流階級 | 下層階級 | 重要人物 | 超能力者 | 泰山北斗 | 人間国宝 |
| 文学青年 | 文学少女 | 郷土史家 | 経済学者 | 統計学者 | 無神論者 |
| 張三李四 | 善男善女 | 造反分子 | 冷血動物 | 万能選手 | 国会議員 |
| 家庭教師 | 即興詩人 | 吟遊詩人 | 雑誌記者 | 三蔵法師 | 琵琶法師 |
| 高級官僚 | 文武百官 | 政務次官 | 事務次官 | 国務大臣 | 総理大臣 |
| 外務大臣 | 大蔵大臣 | 文部大臣 | 太政大臣 | 全権大使 | 行政書士 |
| 司法書士 | 開発業者 | 兼業農家 | 駐在巡查 | 交通巡查 | 被雇用者 |
| 予備校生 | 退役軍人 | 在郷軍人 | 被征服者 | 母子家庭 | 官公庁街 |
| 都道府県 | 阪神地方 | 北方四島 | 第三世界 | 利益社会 | 共同社会 |
| 現代社会 | 国際社会 | 自由世界 | 地域社会 | 学歴社会 | 経済特区 |
| 私立学校 | 各種学校 | 国立大学 | 市立大学 | 私立大学 | 女子大学 |
| 帝国大学 | 総合大学 | 単科大学 | 畜産大学 | 農業大学 | 工業大学 |
| 商科大学 | 薬科大学 | 医科大学 | 歯科大学 | 音楽大学 | 美術大学 |
| 税務大学 | 師範学校 | 工業学校 | 商業学校 | 農業学校 | 警察学校 |
| 士官学校 | 聾啞学校 | 美容学校 | 料理学校 | 付属学校 | 株式会社 |
| 金融機関 | 中央銀行 | 日本銀行 | 世界銀行 | 地方銀行 | 紡績工場 |
| 報道機関 | 言論機関 | 大衆食堂 | 化粧品店 | 血液銀行 | 幕僚監部 |
| 秘密警察 | 特別国会 | 臨時国会 | 地方議会 | 軍法会議 | 産別会議 |
| 特殊部隊 | 国際連合 | 公共団体 | 圧力団体 | 特殊法人 | 財団法人 |
| 社団法人 | 公益法人 | 営利法人 | 中間法人 | 宗教法人 | 学校法人 |
| 医療法人 | 日本法人 | 単一組合 | 職業集団 | 頭脳集団 | 企業集団 |
| 新感覚派 | 政治結社 | 交響楽団 |      |      |      |

### 1.3 人間活動－精神および行為

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 精神状態 | 潜在意識 | 異常心理 | 虚心坦懐 | 茫然自失 | 五里霧中 |
| 第一印象 | 色彩感覚 | 絶対音感 | 皮膚感覚 | 平衡感覚 | 驚天動地 |
| 震天動地 | 喜怒哀楽 | 強迫観念 | 一喜一憂 | 自暴自棄 | 欲求不満 |
| 千辛万苦 | 一視同仁 | 大慈大悲 | 忠君愛国 | 破顔一笑 | 呵呵大笑 |
| 不撓不屈 | 堅忍不拔 | 臥薪嘗胆 | 粒粒辛苦 | 苦心慘憺 | 唯我独尊 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 母性本能 | 婦巢本能 | 鬪爭本能 | 行雲流水 | 變態性欲 | 隔靴搔痒 |
| 誠心誠意 | 社会正義 | 新興宗教 | 偶像崇拜 | 切磋琢磨 | 声帶模写 |
| 温故知新 | 予備知識 | 誇大妄想 | 被害妄想 | 強迫觀念 | 深謀遠慮 |
| 經濟觀念 | 固定觀念 | 半信半疑 | 目的意識 | 問題意識 | 自然選択 |
| 人為選択 | 取捨選択 | 二者択一 | 三者択一 | 定点観測 | 四則計算 |
| 数值計算 | 加減乗除 | 四捨五入 | 二捨三入 | 精神分析 | 因子分析 |
| 模擬実験 | 学力検査 | 知能検査 | 能力検定 | 特別捜査 | 任意捜査 |
| 暗中摸索 | 市場調査 | 発掘調査 | 価値判断 | 精神鑑定 | 親子鑑定 |
| 揣摩臆測 | 過大評価 | 過小評価 | 死活問題 | 程度問題 | 社会問題 |
| 国語問題 | 国字問題 | 政治問題 | 家庭問題 | 環境問題 | 国際問題 |
| 南北問題 | 指導要領 | 身分証明 | 存在証明 | 牽強付会 | 羊頭狗肉 |
| 空中楼阁 | 經驗科学 | 応用科学 | 先端科学 | 自然科学 | 人文科学 |
| 社会科学 | 生命科学 | 認知科学 | 行動科学 | 人間科学 | 生活科学 |
| 環境科学 | 地域研究 | 形而上学 | 言語哲学 | 分析哲学 | 科学哲学 |
| 古文書学 | 図書館学 | 日本語学 | 日本語史 | 国語学史 | 比較文学 |
| 比較法学 | 位相数学 | 微積分学 | 離散数学 | 応用数学 | 古典力学 |
| 統計力学 | 量子力学 | 核物理学 | 素粒子論 | 空気力学 | 流体力学 |
| 物理光学 | 電磁気学 | 無機化学 | 有機化学 | 分析化学 | 界面化学 |
| 地球科学 | 天体力学 | 機械工学 | 金属工学 | 土木工学 | 耐震工学 |
| 防災工学 | 電気工学 | 通信工学 | 電子工学 | 生命工学 | 人間工学 |
| 経営工学 | 教育工学 | 社会工学 | 未来工学 | 微生物学 | 古生物学 |
| 農芸化学 | 臨床医学 | 予防医学 | 精神医学 | 航空医学 | 西洋医学 |
| 東洋医学 | 国語漢文 | 保健体育 | 神仙思想 | 啓蒙思想 | 危険思想 |
| 外来思想 | 西洋思想 | 社会通念 | 国民感情 | 唯物史観 | 基本方針 |
| 主權在民 | 民主主義 | 三民主義 | 自由主義 | 社会主義 | 共產主義 |
| 民族主義 | 愛国主義 | 重商主義 | 重農主義 | 農本主義 | 尊皇攘夷 |
| 軍国主義 | 国粹主義 | 国家主義 | 全体主義 | 自然主義 | 人道主義 |
| 現實主義 | 心理主義 | 論理主義 | 理想主義 | 完全主義 | 教条主義 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 個人主義 | 利己主義 | 合理主義 | 商業主義 | 英雄主義 | 楽天主義 |
| 厭世主義 | 虚無主義 | 三猿主義 | 叙情主義 | 感傷主義 | 写実主義 |
| 通商条約 | 不戦条約 | 歩兵操典 | 常套手段 | 強硬手段 | 人海戦術 |
| 三段論法 | 両面作戦 | 心理療法 | 精神療法 | 薬餌療法 | 食餌療法 |
| 郡県制度 | 家族制度 | 教育制度 | 政治制度 | 金本位制 | 銀本位制 |
| 生活設計 | 三十六計 | 失業対策 | 税金対策 | 国語政策 | 経済政策 |
| 外交政策 | 人口政策 | 実用新案 | 事前運動 | 右顧左眄 | 意思表示 |
| 千言万語 | 名誉市民 | 名誉教授 | 自由作文 | 機械翻訳 | 自動翻訳 |
| 普通名詞 | 形式名詞 | 固有名詞 | 具体名詞 | 抽象名詞 | 補助用言 |
| 可能動詞 | 補助動詞 | 複合動詞 | 形容動詞 | 接続助詞 | 感動助詞 |
| 不定冠詞 | 造語成分 | 異字同訓 | 和製漢語 | 和製英語 | 現在完了 |
| 過去完了 | 現在分詞 | 過去分詞 | 五段活用 | 四段活用 | 母音調和 |
| 表意文字 | 表音文字 | 音節文字 | 単音文字 | 音標文字 | 音声字母 |
| 音声記号 | 発音記号 | 象形文字 | 楔形文字 | 常用漢字 | 当用漢字 |
| 教育漢字 | 代用漢字 | 万葉仮名 | 仮名文字 | 偏旁冠脚 | 注音符号 |
| 教科書体 | 禁則文字 | 元素記号 | 原子記号 | 化学記号 | 四分音符 |
| 音部記号 | 変化記号 | 本位記号 | 臨時記号 | 反復記号 | 補助記号 |
| 日本地図 | 世界地図 | 分県地図 | 道路地図 | 言語地図 | 危険信号 |
| 無線電信 | 国際電話 | 最後通告 | 最後通牒 | 情報公開 | 三者面談 |
| 特別講義 | 特殊講義 | 自問自答 | 一問一答 | 円卓会議 | 職員会議 |
| 博引旁証 | 懸腕直筆 | 博士論文 | 新聞記事 | 言文一致 | 証拠文書 |
| 外交文書 | 内容証明 | 車庫証明 | 戸籍抄本 | 図書目録 | 実用作文 |
| 文学作品 | 口承文芸 | 中国文学 | 近代文学 | 現代文学 | 大衆文学 |
| 児童文学 | 五言絶句 | 七言絶句 | 近代小説 | 心境小説 | 推理小説 |
| 歴史小説 | 家庭小説 | 恋愛小説 | 少女小説 | 大衆小説 | 軍記物語 |
| 造形美術 | 装飾美術 | 舞台美術 | 日光写真 | 天体写真 | 水中写真 |
| 空中写真 | 上空写真 | 心霊写真 | 歌舞音曲 | 西洋音楽 | 伝統音楽 |
| 大衆音楽 | 商業音楽 | 宗教音楽 | 電子音楽 | 民族音楽 | 教会音楽 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 黑人靈歌 | 文明開化 | 現代文明 | 古代文明 | 物質文明 | 機械文明 |
| 東西文明 | 四大文明 | 黃河文明 | 日本文化 | 海外文化 | 傳統文化 |
| 大眾文化 | 兒童文化 | 精神文化 | 活字文化 | 文芸復興 | 國風文化 |
| 文化遺產 | 世界遺產 | 故事來歷 | 民間傳承 | 異國情緒 | 和洋折衷 |
| 波瀾万丈 | 勞働災害 | 內憂外患 | 共同作業 | 生理休暇 | 育兒休暇 |
| 臨時休業 | 開店休業 | 同盟罷業 | 即日帰郷 | 晴耕雨読 | 日常生活 |
| 社会生活 | 家庭生活 | 都會生活 | 田園生活 | 消費生活 | 二重生活 |
| 独身生活 | 單身赴任 | 醉生夢死 | 暴飲暴食 | 保健衛生 | 冷水摩擦 |
| 乾布摩擦 | 美容体操 | 戀愛結婚 | 一妻多夫 | 一夫一婦 | 一夫多妻 |
| 政略結婚 | 風流韻事 | 歌舞音曲 | 神經衰弱 | 修学旅行 | 視察旅行 |
| 新婚旅行 | 探檢旅行 | 团体旅行 | 美容体操 | 柔軟体操 | 準備体操 |
| 整理運動 | 体操競技 | 徒手体操 | 器械体操 | 平身低頭 | 三拜九拝 |
| 直立不動 | 輾轉反側 | 腹式呼吸 | 三權集權 | 中央集權 | 地方分權 |
| 治外法權 | 孤立無援 | 四面楚歌 | 內柔外剛 | 內剛外柔 | 外柔內剛 |
| 才色兼備 | 千軍万馬 | 一舉一動 | 直接行動 | 實力行使 | 独断專行 |
| 越權行為 | 社会運動 | 勞働運動 | 学生運動 | 選挙運動 | 政治活動 |
| 東奔西走 | 戰爭犯罪 | 大器晚成 | 比翼連理 | 遠交近攻 | 内部分裂 |
| 全国大会 | 世界大会 | 保護者会 | 酒池肉林 | 居中調停 | 社会保障 |
| 虚虚实实 | 勞働爭議 | 付和雷同 | 夫唱婦随 | 一蓮托生 | 吳越同舟 |
| 統一行動 | 共同戰線 | 弱肉強食 | 生存競争 | 優勝劣敗 | 不協和音 |
| 階級鬭爭 | 內憂外患 | 示威運動 | 南北戰爭 | 日清戰爭 | 日中戰爭 |
| 朝鮮戰爭 | 獨立戰爭 | 世界大戰 | 宗教戰爭 | 孤軍奮鬪 | 集中砲火 |
| 連戰連勝 | 百戰百勝 | 富国強兵 | 生殺与奪 | 群雄割拠 | 封建主義 |
| 絕對主義 | 帝国主義 | 資本主義 | 宗教改革 | 行政改革 | 産業革命 |
| 技術革命 | 科学革命 | 市民革命 | 辛亥革命 | 地方自治 | 地方分權 |
| 中央集權 | 立憲政治 | 民主政治 | 政党政治 | 寡頭政治 | 独裁政治 |
| 恐怖政治 | 青天白日 | 男女平等 | 行政訴訟 | 書類送檢 | 強制処分 |
| 学校經營 | 零細經營 | 多角經營 | 半官半民 | 危機管理 | 行政処分 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 配置転換 | 普通選挙 | 直接選挙 | 間接選挙 | 地方選挙 | 中間選挙 |
| 電子投票 | 国民投票 | 国民審査 | 住民投票 | 通信教育 | 学校教育 |
| 家庭教育 | 社会教育 | 社員教育 | 生涯教育 | 義務教育 | 普通教育 |
| 初等教育 | 中等教育 | 高等教育 | 専門教育 | 職業教育 | 予備教育 |
| 道德教育 | 言語教育 | 国語教育 | 政治教育 | 歴史教育 | 科学教育 |
| 管理教育 | 孟母三遷 | 保護観察 | 純粹培養 | 人命救助 | 海難救助 |
| 生活保護 | 女人禁制 | 男子禁制 | 官尊民卑 | 男尊女卑 | 女尊男卑 |
| 勸善懲惡 | 論功行賞 | 人権侵害 | 人権蹂躪 | 経済危機 | 通貨危機 |
| 社会保険 | 生命保険 | 養老保険 | 健康保険 | 傷害保険 | 労災保険 |
| 火災保険 | 損害保険 | 特別会計 | 国家予算 | 不労所得 | 国民所得 |
| 地租関税 | 累進課税 | 希少価値 | 付加価値 | 利用価値 | 貨幣価値 |
| 標準価格 | 平均価格 | 一得一失 | 一利一害 | 一挙兩得 | 一攫千金 |
| 一石二鳥 | 物物交換 | 保護貿易 | 徒手空拳 | 事務処理 | 社会事業 |
| 営利事業 | 大量生産 | 情報産業 | 中小企業 | 不動産業 | 機械工業 |
| 電子工業 | 金属工業 | 化学工業 | 繊維工業 | 縫製工業 | 羊毛工業 |
| 通信工業 | 半農半漁 | 近海漁業 | 遠海漁業 | 遠洋漁業 | 粗放農業 |
| 集約農業 | 有機農法 | 有機栽培 | 促成栽培 | 水力発電 | 火力発電 |
| 精神衛生 | 心療内科 | 泌尿器科 | 整形外科 | 美容外科 | 放射線科 |
| 物理療法 | 対症療法 | 民間療法 | 整形手術 | 臓器移植 | 自然気胸 |
| 静脈注射 | 予防接種 | 人工透析 | 美容整形 | 禁則処理 | 無線操縦 |
| 粗製濫造 | 公序良俗 |      |      |      |      |

#### 1.4 生産物および用具

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 有価証券 | 収入印紙 | 夜光塗料 | 蛍光塗料 | 化石燃料 | 液体燃料 |
| 固形燃料 | 天然繊維 | 化学繊維 | 合成繊維 | 炭素繊維 | 自然食品 |
| 生鮮食品 | 冷凍食品 | 日本料理 | 中国料理 | 中華料理 | 韓国料理 |
| 民族料理 | 郷土料理 | 会席料理 | 宴席料理 | 一品料理 | 半生菓子 |
| 砂糖菓子 | 化学薬品 | 工業薬品 | 血液製剤 | 小柴胡湯 | 筋弛緩剤 |
| 抗生物質 | 高層建築 | 防火建築 | 水洗便所 | 三角定規 | 雲形定規 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 二次製品 | 家庭用品 | 電熱器具 | 切削工具 | 化学兵器 | 生物兵器 |
| 撥弦楽器 | 擦弦楽器 | 弦鳴楽器 | 木管楽器 | 金管楽器 | 鍵盤楽器 |
| 電子楽器 | 無線電話 | 有線電話 | 固定電話 | 人工知能 | 設備装置 |
| 安全装置 | 舞台装置 | 機械装置 | 記憶装置 | 光学器械 | 周辺機器 |
| 電気器具 | 医療器具 | 緩衝装置 | 印字装置 | 人工心肺 | 交通機関 |
| 運輸機関 | 低公害車 | 観光列車 | 貨物列車 | 旅客列車 | 路面電車 |
| 快速列車 | 気象衛星 | 通信衛星 | 静止衛星 | 国立公園 | 海水浴場 |
| 舗装道路 | 対向車線 | 立体交差 | 農業用水 | 自然堤防 |      |

### 1.5 自然物および自然現象

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 万有引力 | 極超短波 | 遠赤外線 | 可視光線 | 核外電子 | 有機物質 |
| 同位元素 | 液体酸素 | 非鉄金属 | 希有金属 | 合成物質 | 含水炭素 |
| 水酸化物 | 炭水化物 | 合成樹脂 | 示相化石 | 生痕化石 | 液体空気 |
| 防火用水 | 消防用水 | 生活用水 | 工業用水 | 工場廃水 | 無感地震 |
| 有感地震 | 表層雪崩 | 三寒四温 | 異常気象 | 放射冷却 | 気圧配置 |
| 西高東低 | 東高西低 | 不連続線 | 天気晴朗 | 日本海流 | 千島海流 |
| 化学変化 | 化学反応 | 化学合成 | 加水分解 | 環境汚染 | 複合汚染 |
| 大気汚染 | 日月星辰 | 散光星雲 | 橢円銀河 | 球状星団 | 散開星団 |
| 熱帯雨林 | 砂漠地帯 | 森林地帯 | 草原地帯 | 風光明媚 | 有機養分 |
| 種子植物 | 顕花植物 | 隠花植物 | 緑色植物 | 観葉植物 | 高山植物 |
| 食虫植物 | 薬用植物 | 本草植生 | 緑藻植物 | 有色野菜 | 虞美人草 |
| 実験動物 | 高等動物 | 脊椎動物 | 節足動物 | 軟体動物 | 扁形動物 |
| 袋形動物 | 環形動物 | 腔腸動物 | 海綿動物 | 定温動物 | 恒温動物 |
| 温血動物 | 変温動物 | 冷血動物 | 草食動物 | 肉食動物 | 雑食動物 |
| 化石人類 | 直立猿人 | 北京原人 | 環形動物 | 棘皮動物 | 消化器官 |
| 感覚器官 | 前庭器官 | 三半規管 | 結締組織 | 腹膜弁膜 | 不随意筋 |
| 内分泌腺 | 運動神経 | 感覚神経 | 末梢神経 | 三叉神経 | 中枢神経 |
| 交感神経 | 自律神経 | 迷走神経 | 神経細胞 | 大脳皮質 | 脳下垂体 |
| 五臓六腑 | 人工心肺 | 毛細血管 | 呼吸器官 | 消化器官 | 皮下組織 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 皮下脂肪 | 内臓脂肪 | 中性脂肪 | 生老病死 | 不老不死 | 適者生存 |
| 自然選択 | 人為選択 | 自然淘汰 | 人為淘汰 | 純粹培養 | 細胞分裂 |
| 減数分裂 | 過失致死 | 傷害致死 | 生理現象 | 条件反射 | 生体反応 |
| 生活反応 | 皮膚呼吸 | 有性生殖 | 無性生殖 | 単為生殖 | 人工授精 |
| 突然変異 | 満身創痍 | 前駆症状 | 神経衰弱 | 心臓麻痺 | 小児麻痺 |
| 脳軟化症 | 日本脳炎 | 記憶喪失 | 高脂血症 | 動脈硬化 | 高血圧症 |
| 低血圧症 | 子宮筋腫 | 卵巣嚢腫 | 外反母趾 |      |      |

## 4.2 O類

### 1.1 抽象的關係

専売公社 郵政公社 人民公社 意識不明

### 1.2 人間活動の主体

億万長者 質疑応答 職務質問 自己弁護

### 1.3 人間活動－精神および行為

朝三暮四 生活問題 情報処理

## 4.3 D類

### 1.1 抽象的關係

百八十度 蛇行運転 拘束時間 誘導単位 十分条件 一心同体  
台風一過

### 1.2 人間活動の主体

苦情処理 拒絶反応 拒否反応 世代交代 問答無用 不自由児  
高等農林 高等学校

### 1.3 人間活動－精神および行為

通常会計

## 4.4 N類

抽出語数は763語である。

## 1.1 抽象的關係

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 人間關係 | 滿場一致 | 榮養失調 | 百花繚亂 | 危機一髮 | 氣分一新 |
| 換骨奪胎 | 同工異曲 | 電話番号 | 整理番号 | 代表番号 | 會計年度 |
| 事業年度 | 司法年度 | 今日明日 | 百鬼夜行 | 交通麻痺 | 比例配分 |
| 離合集散 | 現地時間 | 一世一代 | 暗黒時代 | 二十四氣 | 七十二候 |
| 前人未到 | 暗証番号 | 郵便番号 | 学籍番号 | 口座番号 | 會員番号 |
| 製造番号 | 原子番号 | 疾風迅雷 | 事事物物 | 枝葉末節 | 正真正銘 |
| 七不思議 | 不安材料 | 合縁奇縁 | 因果応報 | 自業自得 | 事實無根 |
| 相即不離 | 本末顛倒 | 自家撞着 | 自己矛盾 | 二律背反 | 意氣投合 |
| 本地垂迹 | 榮枯盛衰 | 王政復古 | 独立独歩 | 廢藩置県 | 拔本塞源 |
| 出来具合 | 一本調子 | 日常茶飯 | 前代未聞 | 中途半端 | 杓子定規 |
| 五分五分 | 複雜多岐 | 絶体絶命 | 無理算段 | 眉目秀麗 | 難攻不落 |
| 臨機応変 | 突然変異 | 当意即妙 | 諸行無常 | 万古不易 | 千古不易 |
| 常住不滅 | 有為轉變 | 世代交番 | 參勤交代 | 年中無休 | 師資相承 |
| 昼夜兼行 | 一方通行 | 片肺飛行 | 計器飛行 | 紆余曲折 | 右往左往 |
| 集積回路 | 緊急発進 | 前人未到 | 猪突猛進 | 勇往邁進 | 一陽來復 |
| 相即不離 | 案分比例 | 未来永劫 | 尽未来際 | 就労年月 | 制限時間 |
| 日進月歩 | 勤勞年月 | 米穀年度 | 再来年度 | 新聞週間 | 振替休日 |
| 祥月命日 | 七日正月 | 一昨昨年 | 一昨昨日 | 年功序列 | 烏兔匆匆 |
| 所所方方 | 在在所所 | 西東方方 | 四方八方 | 大所高所 | 千姿万態 |
| 市松模様 | 千鳥格子 | 唐草模様 | 多士濟濟 | 汗牛充棟 | 完全無欠 |
| 一部始終 | 全身全霊 | 夫婦關係 | 各人各様 | 電氣振動 | 行方不明 |
| 勤務時間 | 休憩時間 | 類縁關係 | 水際作戦 |      |      |

## 1.2 人間活動の主体

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 魑魅魍魎 | 良妻賢母 | 花嫁御寮 | 先祖代代 | 先住民族 | 百万長者 |
| 寄席芸人 | 新進気鋭 | 新入社員 | 敵性国家 | 短期大学 | 専門学校 |
| 介護保険 | 名題役者 | 千両役者 | 緞帳役者 | 喜劇役者 | 性格俳優 |
| 三百代言 | 御殿女中 | 大学院生 | 非戦闘員 | 国際都市 | 商業都市 |



|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 観光都市 | 工業都市 | 衛星都市 | 姉妹都市 | 都市国家 | 南西諸島 |
| 八大地獄 | 焦熱地獄 | 無間地獄 | 武陵桃源 | 三千世界 | 関係方面 |
| 経営者側 | 労働者側 | 専修学校 | 林間学校 | 臨海学校 | 夏期学校 |
| 養護学校 | 栄養学校 | 電気会社 | 鉄道会社 | 航空会社 | 有限会社 |
| 郵船会社 | 都市銀行 | 市中銀行 | 相互銀行 | 保険会社 | 証券会社 |
| 信用金庫 | 金融公庫 | 不動産屋 | 小料理屋 | 食料品屋 | 駄菓子屋 |
| 文房具屋 | 骨董品屋 | 古道具屋 | 自動車屋 | 養護施設 | 内閣官房 |
| 通常国会 | 外人部隊 | 外郭団体 | 非嫡出子 | 現地法人 | 共済組合 |
| 自分自身 | 一天万乗 | 駄目人間 | 役者子供 | 有象無象 | 四十七士 |
| 自動車王 | 一枚看板 | 三日坊主 | 月給泥棒 | 石部金吉 | 人身御供 |
| 行路病者 | 行旅病者 | 一言居士 | 准看護婦 | 放送記者 | 大道芸人 |
| 生臭坊主 | 新聞配達 | 曲学阿世 | 母子世帯 | 津津浦浦 | 日曜学校 |
| 幽霊会社 | 電電公社 | 出先機関 | 赤十字社 | 養護学級 | 相撲部屋 |
| 工業試験 | 農業試験 | 進行方向 | 仮装行列 | 不俱戴天 | 精神科医 |
| 女子学生 | 警察学校 | 研究施設 | 食料品店 | 運動具店 | 公衆浴場 |
| 公共施設 | 救急病院 | 参謀本部 | 多国籍軍 | 職員組合 | 労働組合 |
| 同業組合 | 協同組合 |      |      |      |      |

### 1.3 人間活動－精神および行為

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 無念無想 | 拔山蓋世 | 和魂漢才 | 群集心理 | 前後不覚 | 感慨無量 |
| 臨機応変 | 試験地獄 | 疲労困憊 | 白河夜船 | 白川夜船 | 夢見心地 |
| 一杯機嫌 | 切齒扼腕 | 悠悠自適 | 明鏡止水 | 周章狼狽 | 甘酸辛苦 |
| 辛勞辛苦 | 愛別離苦 | 近所迷惑 | 多情仏心 | 一唱三嘆 | 一顰一笑 |
| 馬耳東風 | 欣喜雀躍 | 抱腹絶倒 | 青息吐息 | 阿鼻叫喚 | 不惜身命 |
| 不眠不休 | 無我夢中 | 獅子奮迅 | 彫心鏤骨 | 粉骨碎身 | 緊禪一番 |
| 自画自賛 | 自己陶醉 | 自己批判 | 百八煩惱 | 助平根性 | 少欲知足 |
| 一念發起 | 他力本願 | 大悟徹底 | 花嫁修業 | 難行苦行 | 八宗兼学 |
| 生涯学習 | 意气消沈 | 意气阻喪 | 武者修行 | 自学自習 | 深慮遠謀 |
| 鼻元思案 | 沈思默考 | 検定試験 | 疑心暗鬼 | 油断大敵 | 筆答筆問 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 口述試驗 | 口頭試問 | 試行錯誤 | 實態調查 | 現地調查 | 國勢調查 |
| 四柱推命 | 自己評價 | 速戰即決 | 類義兩義 | 言語問題 | 指導要目 |
| 漢方齒學 | 図画工作 | 金科玉條 | 規矩準繩 | 陽動作戰 | 無手勝流 |
| 繁文縟禮 | 用意萬端 | 我田引水 | 左見右見 | 事情聽取 | 異口同音 |
| 一言半句 | 片言隻語 | 片言隻句 | 用言語尾 | 百萬陀羅 | 大言壯語 |
| 自己主張 | 心神喪失 | 悲憤慷慨 | 艱難辛苦 | 相思相愛 | 得意滿面 |
| 意馬心猿 | 縱橫無忌 | 融通無礙 | 筆記試驗 | 模擬試驗 | 入學試驗 |
| 選拔試驗 | 末法思想 | 事大主義 | 瑣末主義 | 敵本主義 | 敗北主義 |
| 權謀術數 | 景氣對策 | 大和言葉 | 口語文法 | 文語文法 | 記述文法 |
| 規範文法 | 比較文法 | 生成文法 | 被修飾語 | 直接話法 | 間接話法 |
| 專門用語 | 若者言葉 | 大和言葉 | 基本語彙 | 活用語尾 | 語形變化 |
| 語尾變化 | 算用數字 | 手旗信號 | 無理難題 | 冒頭陳述 | 卒業論文 |
| 羽衣伝説 | 浦島伝説 | 長者伝説 | 求婚伝説 | 聖杯伝説 | 本格小説 |
| 說話文學 | 探偵小説 | 卒業写真 | 人形芝居 | 超過勤務 | 粗衣粗食 |
| 南船北馬 | 全知全能 | 受檢技術 | 違法駐車 | 局外中立 | 永世中立 |
| 病氣欠席 | 農地改革 | 爆彈發言 | 惡口雜言 | 罵詈雜言 | 罵詈譏諷 |
| 舞文曲筆 | 早口言葉 | 口不調法 | 口無調法 | 名古屋弁 | 待遇表現 |
| 同時通訊 | 以心伝心 | 舞台挨拶 | 誘導尋問 | 不審尋問 | 談論風発 |
| 名披露目 | 三面記事 | 配達証明 | 戶籍謄本 | 特別番組 | 特筆大書 |
| 集合写真 | 人跡未踏 | 町人文化 | 若者文化 | 櫛風沐雨 | 社會福祉 |
| 運否天賦 | 七難八苦 | 豐年滿作 | 即身成仏 | 出處進退 | 肉體勞働 |
| 日曜大工 | 二度手間 | 有給休暇 | 惡衣惡食 | 暖衣飽食 | 無為徒食 |
| 行住座臥 | 無錢飲食 | 鯨飲馬食 | 牛飲馬食 | 弊衣破帽 | 頭寒足熱 |
| 電擊結婚 | 冠婚葬祭 | 通過儀禮 | 年中行事 | 追善供養 | 聖體拝領 |
| 大名旅行 | 無錢旅行 | 宇宙遊泳 | 團體競技 | 個人競技 | 完全試合 |
| 近代五種 | 二人三脚 | 陸上競技 | 十種競技 | 障害競走 | 馱伝競走 |
| 高校野球 | 硬式野球 | 水上競技 | 回轉競技 | 距離競技 | 名字帶刀 |
| 天涯孤獨 | 島國根性 | 役人根性 | 助平根性 | 薄志弱行 | 良智良能 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 博覽強記 | 浅学非才 | 上手下手 | 無芸大食 | 役者子供 | 大根役者 |
| 器用貧乏 | 他人行儀 | 座作進退 | 無為無策 | 肉食妻帯 | 暴虎馮河 |
| 手練手管 | 無為実行 | 不言実行 | 有言実行 | 実践躬行 | 直情径行 |
| 無理無体 | 暗中飛躍 | 無賃乗車 | 囑託殺人 | 不法入国 | 不法滞在 |
| 不法就労 | 不法投棄 | 偕老同穴 | 合従連衡 | 長期欠席 | 表敬訪問 |
| 水先案内 | 会者定離 | 大同団結 | 一致団結 | 面従腹背 | 社会奉仕 |
| 真劍勝負 | 練習試合 | 他流試合 | 奉納試合 | 御前試合 | 天覧試合 |
| 順法闘争 | 条件闘争 | 無血革命 | 徳政一揆 | 一向一揆 | 百姓一揆 |
| 日露戦争 | 交通戦争 | 受験戦争 | 上陸作戦 | 水際作戦 | 空挺作戦 |
| 優柔不断 | 印鑑証明 | 都市工学 | 独善主義 | 刹那主義 | 児童憲章 |
| 悪戦苦闘 | 集注攻撃 | 絨緞爆撃 | 撰閥政治 | 武家政治 | 厳正中立 |
| 不偏不党 | 弾劾裁判 | 関係裁判 | 戦争裁判 | 軍事裁判 | 民事裁判 |
| 刑事裁判 | 国際審判 | 海難審判 | 家事審判 | 人民裁判 | 欠席裁判 |
| 特別抗告 | 公職追放 | 略式起訴 | 制限選挙 | 補欠選挙 | 決選投票 |
| 英才教育 | 身元保証 | 苛斂誅求 | 至上命令 | 放送禁止 | 女人結界 |
| 無理無体 | 自縄自縛 | 執行猶予 | 慇懃無礼 | 妄言多謝 | 妄言多罪 |
| 信賞必罰 | 定額貯金 | 郵便貯金 | 普通預金 | 当座預金 | 定期預金 |
| 筆耕硯田 | 普通為替 | 電信為替 | 郵便為替 | 外国為替 | 特別注文 |
| 世間相場 | 所定内賃 | 定期昇給 | 厚生年金 | 国民年金 | 我利我利 |
| 我田引水 | 先物取引 | 通信販売 | 訪問販売 | 月賦販売 | 共同募金 |
| 受託収賄 | 器用貧乏 | 自己破産 | 栄耀栄華 | 往復貿易 | 公定相場 |
| 為替相場 | 外食産業 | 風俗営業 | 家内工業 | 野良仕事 | 適地適作 |
| 産地直送 | 電報配達 | 牛乳配達 | 新聞配達 | 産婦人科 | 終末医療 |
| 中継放送 | 二元放送 | 多元放送 | 公共放送 | 民間放送 | 衛星放送 |
| 無線放送 | 有線放送 | 短波放送 | 国際放送 | 文字放送 | 多重放送 |
| 海賊放送 | 自動制御 | 遠隔操作 | 拍手喝采 | 勤勞所得 | 公衆衛生 |
| 並立助詞 | 無言電話 | 電子郵便 | 映画音楽 | 無声映画 | 日本映画 |
| 外国映画 | 自主映画 | 正月映画 | 文化映画 | 教育映画 | 科学映画 |

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 記録映画 | 恋愛映画 | 戦争映画 | 怪獣映画 | 成人映画 | 婦人運動 |
| 登録商標 | 補正予算 | 健康診断 | 集団検診 | 同時録音 | 英米文学 |
| 体力検定 | 身体検査 | 救急医学 | 言語政策 | 言語活動 | 言語行動 |
| 言語生活 | 音声言語 | 文字言語 | 自然言語 | 人工言語 | 第一言語 |
| 第二言語 | 言語活動 | 国際結婚 | 卒業旅行 | 運転技術 | 二重否定 |
| 源泉課税 | 源泉徴収 | 公定価格 | 地場産業 | 形成外科 |      |

## 1.4 生産物および用具

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 目玉商品 | 約束手形 | 原稿用紙 | 郵便切手 | 木綿織物 | 救命胴衣 |
| 結婚指輪 | 婚約指輪 | 粗酒粗肴 | 精進料理 | 電子辞書 | 普茶料理 |
| 皿鉢料理 | 懐石料理 | 即席料理 | 本膳料理 | 向精神薬 | 蚊取線香 |
| 武家屋敷 | 九尺二間 | 独立家屋 | 幽霊屋敷 | 子供部屋 | 書生部屋 |
| 暖房設備 | 所帯道具 | 台所道具 | 台所用品 | 暖房器具 | 出刃包丁 |
| 刺身包丁 | 時限爆弾 | 紙飛行機 | 名題看板 | 当用日記 | 懐中電灯 |
| 白熱電球 | 水中眼鏡 | 公衆電話 | 携帯電話 | 太陽電池 | 集積回路 |
| 蒸気機関 | 内燃機関 | 外燃機関 | 乗合馬車 | 無限軌道 | 軽自動車 |
| 特別急行 | 軽飛行機 | 弾丸道路 | 有料道路 | 横断歩道 | 弱冷房車 |
| 共同墓地 | 水素爆弾 | 裸子植物 | 被子植物 | 民族衣装 | 西洋料理 |
| 会席料理 | 原子爆弾 | 道路標識 | 加入電話 | 体脂肪計 | 電波時計 |
| 自家用車 | 国定公園 | 高速道路 |      |      |      |

## 1.5 自然物および自然現象

|      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 花鳥風月 | 圧搾空気 | 生活排水 | 温室効果 | 狂瀾怒濤 | 精力絶倫 |
| 自家受粉 | 隔世遺伝 | 死後硬直 | 自覚症状 | 呼吸器病 | 自家中毒 |
| 炎色反応 | 禁断症状 | 電気抵抗 | 清浄野菜 | 下等動物 | 瀕死軽症 |

表 1 抽出四字漢字語の語数と分布比率

| 類型    |    | S      | O     | D     | N      | 合計    |
|-------|----|--------|-------|-------|--------|-------|
| 四字漢字語 | 語数 | 1,249  | 11    | 16    | 763    | 2,039 |
|       | 比率 | 61.27% | 0.54% | 0.78% | 37.41% |       |

表2 抽出漢字語の意味分類と分布比率

| 項目 |    | 1.10   | 1.20   | 1.30   | 1.40  | 1.50   |
|----|----|--------|--------|--------|-------|--------|
| S類 | 語数 | 203    | 153    | 656    | 83    | 154    |
|    | 比率 | 16.32% | 12.24% | 52.48% | 6.64% | 12.32% |
| O類 | 語数 | 4      | 4      | 3      | 0     | 0      |
|    | 比率 | 36.36% | 36.36% | 27.28% | 0.0%  | 0.0%   |
| D類 | 語数 | 7      | 8      | 1      | 0     | 0      |
|    | 比率 | 43.75% | 50.00% | 6.25%  | 0.00% | 0.00%  |
| N類 | 語数 | 130    | 115    | 431    | 69    | 18     |
|    | 比率 | 17.67% | 15.63% | 58.57% | 9.38% | 2.45%  |

表3 抽出漢字語の語数と分布比率

| 類型    |    | S      | O     | D     | N      | 合計     |
|-------|----|--------|-------|-------|--------|--------|
| 二字漢字語 | 語数 | 16,909 | 644   | 220   | 5,344  | 23,117 |
|       | 比率 | 73.2%  | 2.8%  | 0.9%  | 23.1%  |        |
| 三字漢字語 | 語数 | 2,957  | 50    | 26    | 2,316  | 5,349  |
|       | 比率 | 55.1%  | 0.9%  | 0.6%  | 43.4%  |        |
| 四字漢字語 | 語数 | 1,249  | 11    | 16    | 763    | 2,039  |
|       | 比率 | 61.27% | 0.54% | 0.78% | 37.41% |        |

以上の四字漢字語の分類から見ると、意味が同じか、または極めて近いものS類と中国語にない日本語漢字語の類が一番多く占めている。意味が一部重なっているが、両者の間にずれのある漢字語のO類と著しく違うD類の語数は二、三字漢字語と比べて、ずっと少ない。これに対して、二字漢字語（盛 2013）と三字漢字語（盛 2014）の比率（表3）からみると、S類の全体から見れば、三字漢字語のS類のパーセントは少なくなったことに対して、N類の漢字語は多くなっていることが分かった。N類の中では、特に「1.3人間活動－精神および行為」の語数が多いし、抽象的で意味変化が大きいし、注意すべき点である。それに、N類の四字漢字語は語構成の変化が大きいので、把握しにくい。

次に、パーセントを多く占めている中国語にない漢字語を中心に、日中漢字語の意味ずれを分析して、まとめたいと思う。

## V 四字漢字語の対照分析

厳しく言うと、日中同形で抽出できる漢字語には限界があるため、日本語の四字漢字語が少ない。それは日中語の使用文字や語形の異なりのためである。日本語の四文字漢語に限らず、成語は二字+二字の緩い連合形式から成るものがほとんどであり、一語としての凝縮力が弱い。中国の成語は“自相矛盾”“完璧歸趙”“画蛇添足”“杞人憂天”“不可思議”のように四字が典型であるが、日本語ではそれぞれ“矛盾”“完璧”“蛇足”“杞憂”“不思議”のように基幹二字もしくは三字となる。四字でも「三顧の礼（中国語原文は“三顧茅庐”）」「背水の陣（同“背水一战”）」のように平仮名混じりや、「枚挙にいとまがない」（中国語は“不胜枚挙”）など日本語の統語法に則して形を変えた成語例は、それこそ枚挙にいとまがない。このため、日本語の四字成語は形式上、異形や類語が極めて多い。この部分を取り除いたら、なかなか比較にはならないので、本論の調査基準により、中日漢字語の字形を無視して、より全面的に比較することにする。

### 5.1 四字漢字語の意味ずれ

以上の四字漢字語の分類から見ると、S類とN類が一番多く占めているが、O類とD類はずっと少ないことが分かった。意味が一部重なっているが両者の間にずれのある漢字語は結構パーセントを占めていることがわかった。O類とD類の漢字語がすくないが、意味ずれを把握するのは難しい。

#### 5.1.1 S類

以上の分類から見ると、S類の単語は字形も意味も日本語と中国語がほぼ同じだから、訳す場合、日本語の漢字を適当に中国語の漢字に直せばよい。

この類の漢字語を抽出する場合、対照基準により、意味分析の角度から考え、人名、地名などの固有名詞を省略する。この部分のただし、「源平藤橘」、「外様大名」のような日本の特有な固有名詞を省略するが「都道府

県)、「外務大臣」、「大蔵大臣」、「文部大臣」、のような中国語としてそのまま使える漢字語を同義漢字語として抽出する。漢字の字形を直すほかに、意味を推理して、中国語の表現に直す必要があるものもある。

日本語が中国語のなかになだれこむ背景には、中国が西洋の新語を積極的に輸入する事情があるほかに、当時日本における新語のつくり方にも原因がある。当時の日本では、西洋の新語を訳すとき、少数の音訳をのぞいて大部分は意識をしていた。しかも音訳であろうと、意識であろうと、みな漢字を使っていた。特に意識の場合は、ちゃんと中国語の造語法のルールを守ってつくられた。具体的には次のようにまとめることができる。

表4 二字漢字語構造による主な分類と語例

| 構造種類      | 語例 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 1. 連体修飾関係 | 国政 | 家名 | 門柱 | 白紙 | 好感 | 親友 | 暖冬 | 重罪 | 薄利 |    |  |
| 2. 並列関係   | 適温 | 略図 | 恒産 | 雑用 | 背景 | 化石 | 戦線 | 環境 | 芸術 |    |  |
| 3. 連用修飾関係 | 解放 | 供給 | 説明 | 方法 | 共同 | 主義 | 階級 | 公開 | 共和 | 闘争 |  |
|           | 希望 | 法律 | 活動 | 命令 | 総合 | 説教 | 教授 | 解剖 |    |    |  |
|           | 納税 | 免税 | 拾遺 | 理財 | 換物 | 報恩 | 換物 | 売血 | 延期 |    |  |
|           | 借款 | 節水 | 節電 | 増資 | 減資 | 融資 | 殺菌 | 輸血 | 消毒 |    |  |

(2013 盛)

四字漢字語内部の結合関係は、日本語と中国語を問わず、この点で共通しているが、文レベルでの統語構造を圧縮したような仕組みとなっており、主に連体修飾関係・並列関係・連用修飾関係といった結合パターンにまとめることができる。抽出した四字漢字語には上述のような二字漢字語による複合語が多い。たとえば、

社会主義 自由主義 治外法権 土木工程 工芸美術 自然科学  
 自然淘汰 攻守同盟 防空演習 唯物史観 動脈硬化 神経衰弱  
 財団法人 国際公法 最后通牒 経済恐慌など。

四字漢字語の意味判断は内部の結合関係と密接に関連していると思われる。そのため、語基の品詞性ととともに、前部二字語基と後部二字語基はどのような文法的結合関係で結ばれているかということが、四字漢字語の語

構成と意味を考えるのにあたって重要なポイントになる。

### 5.1.2 O類

O類の中には、日中漢字語の意味は一部が重なっているが、意味ずれがあるので、翻訳するとき、よく分析して、意味のずれに注意すべきである。もし、よく考えずに限定しないで、あるいはそれぞれ自分の国の固定的な言い方で訳すと、意味不明になったりする場合が多い。たとえば、

「億万長者」という漢字語を例にしよう。日本語の「億万長者」とは、連体修飾関係の名詞形の語であり、「たいへんな大金持ち。」という意味だが、中国語の“亿万长者”は語構成が同じだが、後ろの“长者”は「年を取っていて、世代の高い人。」という意味で、誤解しやすい漢字語である。

ほかに「質疑応答」、「職務質問」という語の「質疑」と「質問」は中日語の意味範囲が違うところに注意することである。

### 5.1.3 D類

四字漢字語のD類は少なくないが、日中の意味ずれが大きい。

この類の語彙は日本から中国に取り入れてから、意味、使用範囲、字形などが変わったりするので、翻訳の難点で、特に注意すべき点だと思う。たとえば、「百八十度」と言う単語を例にしよう。日本語ではそのまま「1度の180倍。」という意味だが、中国語では「百度ぐらい」という意味になる。

また、日本語の「台風一過」は「台風が通り過ぎたあと、空が晴れ渡りよい天気になること。転じて、騒動が収まり、晴れ晴れとすること。」という意味だが、中国語の“台风一过”はただ「台風がすぎること。」という意味だけであり、次に案じることが確定できないのである。

また、「蛇行運転」、「拘束時間」という漢字語の二字語の意味ずれを把握しないと、誤解が生じやすい。



#### 5.1.4 N類

前の三字漢字語と比べると、N類の四字漢字語は多くなっていることが分かった。

N類の漢字語はみな中国語にはないものである。この類の語彙はほとんど日本人が自分で造った和製漢字語で、語彙構造も表現も違うので、よく日本語の元の意味を理解して、中国語の習慣的な言い方や専門用語で訳さないと、よく誤用になったりする。千語あまりの日本語はすっかり中国語のなかに定着し、現代中国語のなかの不可欠の構成部分となっている。「幹部、経済、手続、社会主義、」などのことばは、中国人なら誰でもよく使うものだが、ほとんどの人はもうその来源を意識しないし、それを知らないのである。これに対して、日本語の場合も同じようなことがある。辞書によって多少差はあるが、日本語の語彙は、今でも半分ぐらいは漢語語彙であろう。その大部分は古代中国語から来たものであり、その一部分は日本でつくられたものである。しかし、日本人は中国来源の漢語語彙を外來語だと、まったく見なしていないし、それが中国からのことばだと意識する人も、非常に限られているだろう。

また、この部分の複合漢字語には中国語にはない語彙でできたものなので、複合してからの意味判定が難しくなる。

#### 5.2 語構成の違いによる意味分類

語構造の角度から日中四字漢字語を比較分析し、漢字語の意味変化の规律的なものを探ってみたいと思う。

四字漢字語は「呉越同舟」のような中国語伝来のものと、「一所懸命」「油断大敵」「絶体絶命」など日本製の漢字語に分類できる。中国人学習者は“一喜一憂”“十人十色”“春夏秋冬”“自由自在”“自暴自棄”などをほとんど知っている。慣用句の内部統語構造が比較的単純で、並列関係（“春夏秋冬”“自由自在”“自暴自棄”）、もしくは連合関係（“一喜一憂”“十人十色”）など、漢語文法を知らなくとも推理可能な四文字語が多い。これに対して、日本

人学習者は、“吳越同舟” {主語 (吳越) が述語 (舟を同じくする)} や “異口同音” {動詞 + 目的語 (口を異にしなが) 動詞 + 目的語 (音 [声] を異にする)} は典故や漢語の構造を知らないと意味の理解が難しい。

### 5.2.1 四字漢字語の構成パターン

語基の意味的關係によって、四字漢字語を 2 + 2 型、3 + 1 型、1 + 3 型、1 + 1 + 1 + 1 型といった構成パターンに分類することができる。

表5 四字漢字語の構成パターン

| 構成パターン          | 語 例   |
|-----------------|---|
| 2 + 2 型         | 感慨 + 無量、国際 + 審判、冷血 + 動物、栄養 + 過度、蛇行 + 運転、健康 + 診断、国家 + 予算         |
| 3 + 1 型         | 不動産 + 屋、脳軟化 + 症、高血圧 + 症、補充機 + 系、高脂血 + 症、皇太子 + 妃、虞美人 + 草、自動車 + 王 |
| 1 + 3 型         | 正 + 多角形 正 + 三角形、赤 + 十字社、小 + 料理屋<br>准 + 看護婦 紙 + 飛行機、南 + 回帰線      |
| 1 + 1 + 1 + 1 型 | 喜 + 怒 + 哀 + 楽、土 + 農 + 工 + 商                                     |

抽出した語からみると、ほとんどの四字漢字語は二字漢字語で複合することによって、派生させたのである。また、漢字一字に、三字漢字語を複合させることによって意味を補完することもある。例として「妃」に「皇太子」を複合した「皇太子妃」、「紙」に「飛行機」を複合した「紙飛行機」などが挙がる。実際、四字語の大部分は、このような二、三字漢字語の派生や複合によって発生したものである。中日両語の四字漢字語を比較する上で、その構成の要素である二字漢字語と三字語への分析が必要になってくる。3 + 1 型と 1 + 3 型の造語パターンがまれで、とくに、派生的に使われる一字語基の用法がごく少ない。これに対して、抽出した四字漢字語では、2 + 2 型のものが9割以上を占めている。

二字漢字語「屋内、室内」「老人、老年」「行進、進行」は、日中両言語ともに存在しているが、複合すると四字漢字語になると、それぞれ違う二字語を使う。そのため、語彙教育において中日四字漢字語の誤用を防ぐた

めに、その語構成要素の二字漢字語との比較も欠かせないことだと考えられる。

### 5.2.2 四字漢字語の異表記

次に四字語の異表記によって生じたずれを見てみることにする。

異表記による四字漢字語は次のように抽出した。異表記になる漢字語はほとんど「己」・“我”、「赤」・“紅” 同義と類義の一字漢字によるものである。

表6 異表記による中日漢字語比較

| 日本語  | 中国語  | 日本語  | 中国語  | 日本語  | 中国語  |
|------|------|------|------|------|------|
| 自己矛盾 | 自我矛盾 | 栄養失調 | 营养失调 | 前代未聞 | 前所未闻 |
| 臨機応変 | 随机应变 | 自己陶醉 | 自我陶醉 | 現地法人 | 当地法人 |
| 四方八方 | 四面八方 | 自己批判 | 自我批评 | 専門学校 | 专科学校 |
| 国際都市 | 国际城市 | 自己評価 | 自我评价 | 赤十字社 | 红十字会 |
| 現地時間 | 当地时间 | 自己主張 | 自我主张 | 疑心暗鬼 | 疑神疑鬼 |
| 千姿万態 | 千姿百态 | 大言壮語 | 豪言壮语 | 日進月歩 | 日新月异 |
| 異口同音 | 异口同声 | 相思相愛 | 相亲相爱 | 沈思默考 | 沉思默想 |
| 専門用語 | 专业用语 | 活用語尾 | 活用词尾 | 語尾変化 | 词尾变化 |
| 語形変化 | 词形变化 | 卒業論文 | 毕业论文 | 違法駐車 | 违法停车 |
| 農地改革 | 农田改革 | 卒業旅行 | 毕业旅行 | 不法入国 | 非法入境 |
| 不法滞在 | 非法滞在 | 不法就労 | 非法就劳 | 不法投棄 | 非法投弃 |
| 長期欠席 | 长期缺席 | 日露戦争 | 日俄战争 | 上陸作戦 | 登陆作战 |
| 優柔不断 | 优柔寡断 | 印鑑証明 | 印章证明 | 都市工学 | 城市工学 |
| 身元保証 | 身份保证 | 産地直送 | 产地直销 | 公衆衛生 | 公共卫生 |
| 並立助詞 | 并列助词 | 婦人運動 | 妇女运动 | 公衆浴場 | 公共浴场 |
| 参謀本部 | 参谋总部 | 圧搾空気 | 压缩空气 | 公衆電話 | 公共电话 |
| 警察学校 | 警官学校 | 電子辞書 | 电子词典 | 不俱戴天 | 不共戴天 |
| 英米文学 | 英美文学 | 体力検定 | 体力测定 | 二人三脚 | 二人三足 |
| 二重否定 | 双重否定 | 民族衣装 | 民族服装 | 国定公園 | 国立公园 |
| 高速道路 | 高速公路 | 清浄野菜 | 洗净蔬菜 | 下等動物 | 低等动物 |

### 5.2.3 中日漢字語の構造変換

N類漢字語は中国語にない漢字語なので、中国の日本語学習者に難点である。中国語に訳す場合、よく理解して構造に拘らずに訳さなければならぬ。うっかりすると、誤用が生じたりする。

## 1) 四字語から二字語へ

一部の日本語四字語は、中国語に訳す場合、二字漢字語に訳さなければならぬ。

表7

| 日本語  | 中国語 | 日本語  | 中国語 | 日本語  | 中国語 |
|------|-----|------|-----|------|-----|
| 電撃結婚 | 閃婚  | 通信販売 | 网购  | 水素爆弾 | 氢弹  |
| 原稿用紙 | 稿紙  | 郵便切手 | 邮票  | 身体検査 | 体检  |
| 蚊取線香 | 蚊香  | 特別急行 | 特快  | 西洋料理 | 西餐  |
| 手旗信号 | 旗语  | 共同墓地 | 公墓  | 道路標識 | 路标  |
| 郵便番号 | 邮编  | 女子学生 | 女生  | 行方不明 | 失踪  |
| 学籍番号 | 学号  |      |     |      |     |

## 2) 四字語から三字語へ

一部の日本語四字語は、「原子爆弾」のように熟語の一部を省略して中国語に訳す場合、三字漢字語に訳さなければならぬ。

表8

| 日本語  | 中国語 | 日本語  | 中国語 | 日本語  | 中国語 |
|------|-----|------|-----|------|-----|
| 大学院生 | 研究生 | 自動車王 | 汽车王 | 原子爆弾 | 原子弹 |
| 食料品店 | 食材店 | 自家用車 | 私家车 | 電気抵抗 | 电抵抗 |

また、四字漢字語の中には中国語に訳す場合、五字漢字語に直す語例もある。たとえば、

運動具店—運動用品店 多国籍軍—多国籍军队（部队）

外人部隊—外国人部队 地場産業—利用率产业

## 3) 語順が逆になる中日四字漢字語

この類型に入るものを「百パーセントに近く」と言ったのは、まれに、この形にならぬものがあるからである。また、型通りの「防水」「防風（林）」がある一方、「水防工事」「風防ガラス」があり、「砂防会館」と

いう会館もある。電車の切符を売る窓口が機械に変わったころ、あの機械を「券売機」と称した。「売名」や「売文」に従えば「売券」となるものを、こうしたのは、新しい命名に、あえて日本的語順を用いたのだろう。

並列二字語の語順は、日本漢字語と中国漢字語では逆に組み合わせられるものが意外に多い。日中で語順が異なるものは次のように挙げられる。

表9 中日語の語順が逆になる二字漢字語例

| 日本語 | 中国語 | 日本語 | 中国語 | 日本語 | 中国語 | 日本語 | 中国語 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 買収  | 收买  | 養護  | 护养  | 売買  | 买卖  | 施設  | 设施  |
| 抱擁  | 拥抱  | 後日  | 日后  | 脅威  | 威胁  | 制限  | 限制  |
| 水薬  | 药水  | 兵士  | 士兵  | 送迎  | 迎送  | 紹介  | 介绍  |
| 面会  | 会面  | 探偵  | 侦探  | 蓄積  | 积蓄  | 呼称  | 称呼  |
| 期日  | 日期  | 根絶  | 绝根  | 短縮  | 缩短  | 運搬  | 搬运  |
| 年賀  | 贺年  | 融通  | 通融  | 講演  | 演讲  | 静粛  | 肃静  |
| 去来  | 来去  | 買収  | 收买  | 敗戦  | 战败  | 言語  | 語言  |
| 漏泄  | 泄漏  | 詐欺  | 欺詐  | 切迫  | 迫切  | 限界  | 界限  |
| 軽減  | 减轻  | 絶滅  | 灭绝  | 窃盗  | 盗窃  | 賞賛  | 赞赏  |

日本語では意味を微妙に使い分けるが、中国語では右側のみ使用する二字漢字語もある。

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 終始—始終 | 運命—命運 | 平和—和平 |
| 先祖—祖先 | 材木—木材 | 情熱—熱情 |
| 階段—段階 | 補填—填補 | 夜半—半夜 |

表10 語順が逆になる中日四字漢字語

| 日本語  | 中国語  | 日本語  | 中国語  | 日本語  | 中国語  |
|------|------|------|------|------|------|
| 制限時間 | 限制时间 | 音声言語 | 音声语言 | 粉骨碎身 | 粉身碎骨 |
| 制限選挙 | 限制选举 | 人工言語 | 人工语言 | 良妻賢母 | 贤妻良母 |
| 比例配分 | 比例分配 | 文字言語 | 文字语言 | 同工異曲 | 异曲同工 |
| 進行方向 | 行进方向 | 第一言語 | 第一语言 | 一致団結 | 团结一致 |
| 研究施設 | 研究设施 | 自然言語 | 自然语言 | 言語活動 | 语言活动 |
| 公共施設 | 公共设施 | 第二言語 | 第二语言 |      |      |
| 救急医学 | 急救医学 | 言語生活 | 语言生活 |      |      |

この部分の四字漢字語を比較する場合、語基になる中日二字漢字語の語順を把握しておく必要がある。抽出した漢字語を見ると、意味を微妙に使分けする必要が無く、それぞれ中日語の語順に直せばよい。

## 終わりに

本稿では四字漢字語の調査を通じて、抽出した漢字語を意味分類し、二、三字漢字語の研究を踏まえつつ、各類型の漢字語の分布比率を量化してみた。四字漢字語の分類から見ると、次のようにまとめられる。

- 1) 四字漢字語ではN類の中国語にない日本漢字語が一番多く占めている。
- 2) 意味分類の分布比率から見ると、「1.3人間活動－精神および行為」の部分の四字漢字語がもっとも多いし、意味ずれが多いし、注意すべき点である。
- 3) 語構成パターンからみると、3 + 1型と1 + 3型の造語パターンがまれで、とくに、派生的に使われる一字語基の用法がごく少ない。これに対して、抽出した四字漢字語では、2 + 2型のものが9割以上を占めている。
- 4) N類の四字漢字語では中日語の表記や語構成や語順などの差異がある漢字語が多い。

本稿では四字漢字語を一部（体の類）抽出し、意味分類や語構成などの角度から中日漢字語の意味ずれを見てきた。漢字語については、千語あまりの日本語はすっかり中国語のなかに定着し、現代中国語のなかの不可欠の構成部分となっている。これに対して、日本語の語彙は、今でも半分ぐらいは漢語語彙であろう。本論は調査分析により、中日漢字語の意味ずれなどをさらに究明し、中日両国の学習者に少しでもお役に立てればいと願っている。

本来なら、調査対象に対してもっと詳しい分析を進められるべきであるが、それは果たせずに一部概観することにとどまった。今後、もっと詳し

く調査し、漢字語の語数に拘らず、全面的に中日漢字語を研究していきたいと思う。

## 注

- (1) S、O、D  
 S：Same.日中両国語における意味が同じか、または、きわめて近いもの。  
 O：Overlap.日中両国語における意味が一部重なっているが、両者の間にずれのあるもの。  
 D：Different.日中両国語における意味が著しく異なるもの。
- (2) 中国語や英語の単語は“ ”で示す。日本語と中国語の字形がまったく同じ場合は中国語漢字語を略して、「 」で示す。
- (3) N：NOthing.日本語の漢語と同じ漢字語が中国語に存在しないもの。
- (4) 本稿では『分類語彙表』（増補改訂版・国立国語研究所）により、一番漢字語の多い部分（1.体の類）からすべての四字漢字語を抽出した。一部重複した語を略した。

## 参考文献

- 国立国語研究所（2004.1）『分類語彙表』（増補改訂版）国立国語研究所 大日本図書文化庁（1978）『中国語と対応する漢語』早稲田大学語学教育研究所日本語科  
 中国社会科学院言語研究所辞典編纂室編『現代漢語辞典』第5版商務印書館  
 2003.4）『日漢漢日経済貿易辞典』中国対外貿易出版社  
 1998.3『中日・日中辞典』小学館  
 新村出（1998）『広辞苑』第5版 CD-ROM版文化庁  
 （1983）『漢字音読語の日中対応』大蔵省印刷局  
 林大（1964）国立国語研究所資料集6『分類語彙表』秀英出版  
 愛知大学中日大辞典編纂所（2010）『中日大辞典（第三版）』大修館書店  
 王永全他（2007）『日中同形異義語辞典』東方書店  
 大河内康憲（1992）「日本語と中国語の同形語」『日本語と中国語の対照研究論文集』下  
 くらしお出版  
 中川正之（1997）「漢語の語構成」『日本語と中国語の対照研究論文集』下くらしお出版  
 王健宜・王彦良（1995）『日漢同形詞辨異詞典』商務印書館  
 加納喜光（1999）『辞書が教えない三字熟語』講談社  
 加納喜光（2001）『三字熟語語源小辞典』講談社  
 飛田良文・呂玉新（1987）『日本語・中国語意味対照辞典』南雲堂  
 大塚秀明（1990）「日中同形語について」『外国語教育論集』12 筑波大学外国語センター  
 遠藤紹徳（1992）「日本語における漢語語彙及び中国語の同形語彙との比較」『語学教育  
 研究論叢』9 大東文化大学語学教育研究所  
 橋純信（1994）「現代中国語における日中同形語の占める割合」『国際関係学部研究年報  
 （日本文学）』15 日本大学国際関係学部  
 林淑珠（1981）「日本語と中国語の同漢字語の対照－同形異義の問題－」『国語学研究』  
 21 東北大学文学部「国語学研究」刊行会  
 顧明輝（1991）「日中同形同義語の相違点」『外国語教育論集』第13号 筑波大学外国語  
 センター

- 瀋国威（1993）「現代中国語における日本製漢語」『日本語学』12-7 明治書院
- 王承雲（1998）「同形異義語における中国語と日本語の対照研究－中国語教育の視点から－」『人文科教育研究』25 人文科教育学会
- 王蜀豫（1999）「日本語の語彙体系における同形語」『新大國語』25 新潟大学教育学部  
国語国文学会
- 王蜀豫（2001）『日中語彙の対照的研究』四川文芸出版社
- 陳力衛（2001）『和製漢語の形成とその展開』汲古書院
- 高名凱（1958）『現代漢語のなかの外来語研究』中国文字改革出版社
- 宮地裕編（1982）『慣用句の意味と用法』明治書院